3月定例会

平成２５年３月１１日～２８日の間で開催されました。
２４年度の補正予算、２５年度の予算予算（一般会計は骨格）、特別会計とも全議案可決されました。

●津屋崎ヨットハーバー物損事故賠償補償とは

今年の1月、プレージャボートを水揚げ時、船を吊り上げるベルトがスクリュウーにからまり物損事故が発生し、１７万円を弁償した（内、保険金１６万円あり）。

■公平委員の選任

左記の任命に同意した

- ●安永　博正（あけぼの）
- ●山田　宏子（駅東）
- ●廣島　正孝（渡）

■教育委員の選任

左記の任命に同意した

- ●金子　孝信（日の里）
- ●藤井　史子（光陽台南）

平成24年度補正予算

年度末の整理補正が主です

一般会計

△5億1300万円の減額補正

今回の補正予算は年度末のため、国や県の補助金等の確定による整理や、事業の「終了、繰り越し」による補正が主なもので減額補正となっています。

特別会計

- ●国保険事業　△2700万円
- ●後期高齢者　△680万円
- ●介護保険事業　△460万円
- ●公共下水道事業　2億5700万円
- ●地域し尿処理事業　±「0」
- ●住宅貸付事業　1400万円

議案

議案に対する日本共産党議員の賛否

賛否　○賛成　×反対

上段は日本共産党議員の態度
下段は議会全体の態度

報告	専決処分（津屋崎ヨットハーバーの物損事故賠償）	○	○
同意	公平委員の選任、教育委員の選任について5件。退職手当組合組織の増減及び規約の変更など3件。	○	○
議案	平成２４年度一般会計補正予算について	○	○
議案	平成２４年度特別会計補正予算6件について	○	○
議案	平成２５年度一般会計予算について	○	○
〃	国民健康保険事業特別会計予算について	×	○
〃	後期高齢者医療事業特別会計予算について	×	○
〃	介護保険事業特別会計予算について	×	○
〃	公共下水道事業特別会計予算について	○	○
〃	地域し尿処理事業特別会計予算について	○	○
〃	住宅新築資金貸付事業特別会計予算について	○	○
〃	新型インフルエンザ等対策本部条例の設置について	○	○
議案	地域密着型サービス事業者等指定に関する基準等3件。	○	○
議案	道路構造の技術的基準等3件。	○	○
議案	市準用河川に係る河川管理施設等定める条例等2件。	○	○
議案	市営住宅等の整備に関する条例の制定について	○	○
〃	市営住宅等の管理条例を改正することについて	○	○
〃	市部設置条例の制定について	○	○
〃	市議会議員、非常勤職員公務災害補償に関する条例、	○	○
〃	重度障害者医療費に関する条例の制定について	○	○
議案	市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務に関する条例改正について	○	○
議案	市防災会議条例及び、災害対策本部条例の制定について	○	○
〃	市保育所条例を改正することについて	○	○
〃	市公園条例の改正について	○	○
〃	福津市と古賀市との間の汚水処理事務委託の廃止について	○	○
〃	駅西郷口３号自転車駐車場指定管理者を指定することについ	○	○
〃	道路の認定、廃止及び変更について	○	○
発議	市議会議員政治倫理条例の制定について	○	○
〃	原子力事故子ども・被災者支援法具体化の意見書	○	○
〃	中小企業再生・活性化充実・強化を求める意見書	○	○

平成25年度予算

一般会計

市長選挙のため骨格予算
６月議会で肉付けされます

平成２５年度予算は、予算編成期に市長選挙が行われたことから、政策的な経費を除く骨格予算（前年 87・9%）として編成としています。

人件費、扶助費、公債費等義務的経費および継続的事業に関する経費に限定した通年ベースでの必要額を計上し、政策的経費は６月議会補正で肉付けを行います。

だだし、市民生活に密着した重要な事項や社会への対応が求められる事業は、骨格予算に盛り込んでいます。

予算総額と前年対比

100万単位で四捨五入

区分		平成２５年度（骨格予算）	平成２４年度（当初予算）	前年対比
一般会計		174 億 2900 万円	198 億 3100 万円	87.9%
特別会計	国民健康保険事業	67 億 7700 万円	65 億 4800 万円	103.5%
	後期高齢者医療事業	8 億 3600 万円	8 億 0400 万円	104.0%
	介護保険事業	38 億 9300 万円	3７億 9200 万円	102.7%
	公共下水道事業	35 億 7100 万円	40 億 5200 万円	88.1%
	地域し尿事施設事業	6800 万円	6900 万円	99.3%
	住宅新築資金等貸し付け事業	1200 万円	1300 万円	89.1%
合計		325 億 8600 万円	351 億 0900 万円	

議長日記

大久保三喜男

予防接種に係る財政支援
政府へ要望（福津市議長提案）
九州市議会議長会で審議

一、子宮頚がん予防ワクチン、インフルエンザ菌ｂ型（ヒブ）ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの定期接種化及び不活性ポリオワクチンの導入により市町村の財政負担が増大しているが、全額国庫負担で財源措置を。

一、おたふくかぜ、水痘ワクチン肺炎球菌など予防する成人用肺炎球菌ワクチンについても定期接種化を図り、国の責任で財政支援を図ることの2件について、

福津市議長提案で、４／19福岡県市議会議長会で決議、４／25九州市議会議会で審議され、５／22の全国市議会議長会に要望することになりました。

尚、各市議会議長会では、大久保が提案の補足説明をしました。

一般質問

戸田　進一

●「子ども医療費の無料化」中三まで拡充を

問　子育て世帯応援のため、義務教育終了まで医療費の無料化の拡充を求める。

答　子育て世帯応援のため、一年以内に通院を小学校６年生まで、入院を中学校３年生まで拡充する方向で行きたい。

●少人数学級で行き届いた教育を

問　現在、小学校２年生まで（３５人以内）だが、教師と子どもがしっかり向き合える教育が必要だ、さらに拡充を。

答　来年度より、中学校一年生も少人数学級としたい。

●通学路の安全を急げ

問　子どもの安全・安心が第一の通学路の整備を急げ。

答　引き続き安全対策を図る。